

わたしは神である。あなたは神ではない。厳しいことばに聞こえるかもしれないが、しかし実際にはこのことばは、現実という祝福に満ちた薬なのである。天から墮ちることとなったサタンは、エデンの園で、これと同じ欲望を使ってエバを誘惑した。天におけるわたしの地位を奪い、神のようになるという欲望である。エバがこの誘惑に屈し、それからアダムも同様に屈した。それ以来、内側にある罪の性質によって、あらゆることを支配しようとし、状況が好ましくない方へ向かえばわたしをさばくなど、人々は、神であるかのように振舞うようになった。

自分は神ではないと思い出すことは、あなたが自由に生きる助けとなる。自分の手に余ることに関する責任を負う必要はない。自分の手に余るものとは、つまり、ほとんどのことが含まれる。あなたの責任でないことすべてを手放すならば、あなたは不必要な重荷を負うことから自由になる。そうすれば、実際にあなたが責任を負う領域で、より力を発揮することができるだろう。さらに、わたしの主権に信頼しながら、あらゆる気がかりなことについて、すべて祈ることができる。感謝をもってささげる祈りと願いによって、あなたの願いごとをわたしに知らせなさい。このように生きながら、あなたは心配から守られ、すべての理解を超えた平安によって祝福されるだろう。

【新改訳 2017】

ルカ 10:18

イエスは彼らに言われた。「サタンが稲妻のように天から落ちるのを、わたしは見ました。」

創世記 3:5

それを食べるそのとき、目が開かれて、あなたがたが神のようになって善悪を知る者となることを、神は知っているのです。」

ピリピ[°] 4:6

何も思い煩わないで、あらゆる場合に、感謝をもってささげる祈りと願いによって、あなたがたの願い事を神に知っていただきなさい。

ピリピ[°] 4:7

そうすれば、すべての理解を超えた神の平安が、あなたがたの心と思いをキリスト・イエスにあって守ってくれます。